

実践③ 第5・6学年 特別活動『南小はっぴかウィークにチャレンジしよう!』【児童会活動】

活動の目標

○「歯と口の健康づくり」に係る課題解決に向けた5・6年生合同委員会活動の企画・運営を通して、児童自らの発意・発想を生かした委員会活動の充実を図り、問題を主体的に解決する実践力を高める。

課題を見つける力

① 児童集会での発表



発意・発想を活かして

② 健康委員会から協力要請



C: はっぴかウィークに協力してほしい。各委員長さん、どうですか。

課題を解決する力

③ 合意形成に至るまでの学習活動の工夫

議題・アイデアの共有



各委員会での取組は？



決まったことの共有



【環境美化委員会では】

T: 歯磨きの環境ってどこ？
 C: 水道かな。
 C: 歯ブラシチェックは？
 C: 歯ブラシは開いてないのを使ってほしいよね。
 C: 水道のゴミも捨てよう。
 C: みんなへの呼びかけはどうする？



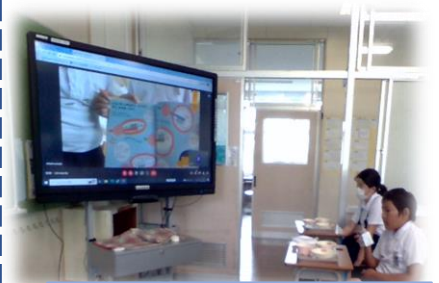
各委員会の取組

C: 放送委員会では、給食の時間に歯のクイズを毎日出します。放送を聞いて答えながら、楽しく歯のことを知ってもらいたいです。

C: みんなのアイデアを基に考えていこう。

次の学びにつなげる力

④ はっぴかウィークの実現



図書委員会による読み聞かせ

⑤ 振り返り

【児童の日記から】

- ・委員会全員が集まったことはなかったけど、まとまって話合いができたのでよかったです。
- ・先生が言った通りにするんじゃなくて、自分達の考えを活かしながら活動ができました。

【成果○と課題●】

○児童ならではのアイデアを出し合っ、取り組む姿があった。学校全体で、あるテーマについて意識し、取り組めた。第一歩は踏み出せた。

●学校の具体的な実態から課題を設定する必要性があった。児童の意識づけにつながる大切な部分である。児童が活動できる十分な時間の確保も必要であった。